

# スイッチオン!



1月9日 教養ゼミ(1年生)において、「食と健康とまちづくり」と題し、コミュニティカフェの経営者である広野様より講義していただきました。  
当日は無農薬の果実酢の味を学生に味わってもらう機会を設けました。  
学生は、食べ物が生産されて流通する過程及び、体により食材を選んで食べることの重要性を学びました。

2月5日 立田先生の資源循環工学実習において、小杉高校を訪問しました。  
環境工学科2年生杉村直昭さんが「射水市の魅力アップ」のために未来の射水市を担う地元の高中生(小杉高校生徒会)を対象に聞き取り調査を実施しました。  
対話を通じた調査により、高校生の本音に迫っていました。



NPO法人きんたろう倶楽部(ファミリーパーク内)の森づくり事業では、1BW\*(アウトドアのバリアフリー木道)の取組みが開始されました。  
2月18日 環境工学科の卒業生が一区画(13枚)を購入し、九里ゼミ室第2研究室にて、絵や文字を描く寄せ書きを行いました。  
実際の森への打ち込みは、3月の下旬を予定しています。

\* 木道の材料となる板は、1枚千円の募金で賄い、購入した板には、好みに絵や文字を描いて、自身で打ち込みます。

参考: <http://www.ibojapan.org/>



1月29日 生物工学科の3年生西野夏稀さん、澤守可苗さんが深層水から発光プランクトンを採取するために、富山県水産研究所を訪れました。  
採取した発光プランクトンを用いて、発光物質の基質となるセレンテラジンの合成経路の解明を目指しています。



12月17日 佐伯先生と環境工学科4年生中村元紀さん、中村昌嗣さんが氷見市大境のミカン畑を訪問しました。  
地元の「灘浦かんきつ研究会」(柳瀬正信会長)から指導を受け、県や市、JA氷見市の職員と一緒に、ミカンの木を雪から守るため冬支度の準備をしました。  
4月に県大のみかんの苗木を30本植える予定です。

## ～図書についてのご紹介～



地域協働支援室では、2月より図書の貸出がスタートしました。「コミュニティデザイン」や「アクティブラーニング」、「プレゼン」等に関する図書をそろえております。是非ご利用ください。



## アクティブラーニング協働スペース利用案内

- 場所 環境工学科棟 333号室
- 利用時間 9:00～19:00
- 対象 全学年

### <利用申込み方法>

地域協働支援室(内線255)、又はメールで申込み:  
件名・学科・学年・名前・利用日及び時限を記入  
[coc1@pu-toyama.ac.jp](mailto:coc1@pu-toyama.ac.jp)



〒939-0398 富山県射水市黒河5180  
TEL. 0766-56-7500(代) FAX. 0766-56-8022  
URL <http://www.pu-toyama.ac.jp/>

「工学心」で地域とつながる!

文部科学省 地(知)の拠点

# COC ニュース



2014 3 vol. ①



富山県立大学  
COCのロゴが決定!



- 地域協働支援室 開所式
- 地域協働支援室の利用案内
- 特集

## 地域協働成果発表会

学生インタビュー:

知能デザイン学科 2年生 河村知侑さん

### 「地(知)の拠点整備事業(大学COC事業)」とは

「地(知)の拠点整備事業(大学COC事業)」は、大学等が自治体と連携し、全学的に地域を志向した教育・研究・地域貢献を進める大学を支援し、地域コミュニティの中核的存在としての大学の機能強化を図ることを目的としています。

平成25年度、全国の各大学等から319件の申請があり、52件が採択されました。

# アクティブラーニング協働スペース 開所式開催！

●**どういった設備があるの？**  
ホワイトボードやスクリーン、プロジェクター等、アクティブラーニングやグループワークに適した設備が整っています。

●**アクティブラーニング協働スペースって？**  
学生が自主的に地域課題に関する活動を行う拠点となる場所です。

「アクティブラーニング協働スペース」のオープンを記念し、1月24日、テープカットが行われました。  
COC推進本部 松本副本部長、中村学生部長、射水市産業経済部長、谷川晃司様、環境工学科3年生 南優平さん、生物工学科2年生 八箇裕子さんがテープカットに参加されました。



## ～COC活動内容のご紹介～

地域の人々とのコミュニケーションから得られた気づきや学び、そして向学心ならぬ工学心…地域の人々に役立ちたいという熱意が学生の中で芽生えたのではないのでしょうか…？

### 唐山トピックゼミ

11月15日  
「おさんぼしんみなと」体験

学生は講義の空き時間にも積極的に地域を探索、自主的に作業していました。

11月20日  
グループでディスカッション

11月29日  
小杉地域観光ボランティアと射水市より説明を聞く

12月6日  
小杉駅付近旧街道および太閤山ランド付近の探索

地域の観光情報発信のためのWEBデザインやコンテンツ等について、学生自身の探索や調査に基づいた発表内容が盛りだくさんでした。

12月20日  
射水市観光発掘コンペティション



### <唐山先生の感想>

3班ともに、とてもまとまった発表をしてくれたと思います。2年生であっても、ここまで素晴らしいプレゼンができることに驚きました。これを機会に、射水市や富山県などの、地域の観光資源や魅力の発掘に目を向けてもらえれば、そして、それを友人や県外の人達に知らせる伝承者になってもらえればいいと思います。

### 伊藤(始)トピックゼミ

平成25年11月15日

橋梁の老朽化と維持管理の現状について、説明会と神通大橋見学会を行いました。



職員から説明をうける

#### 説明会

●富山市建設部より富山市における市道橋の現状と維持管理についての説明

●鋼構造委員会より道路橋床版の複合劣化の最新情報についての説明



老朽化箇所を確認

#### 見学会

●神通大橋 補修工事



12月20日:  
4グループに分かれてディスカッション及び発表

#### グループ3

「自力発電する橋」  
・橋梁にヒーター、照明、ひび割れ発見器、振動計を設置  
・川の流れてタービンを回して発電

「マジックバンド構造の橋」  
・伸縮と移動が自由にできて、取り換えやメンテナンスが容易

#### グループ4

「人が集う橋」  
・橋の周囲に公園や競技場などの公共施設を建造し、地域が関心を持ち技術者の責任感が高まる

#### グループ2

「損傷を知らせる「発光体の橋」」  
・コンクリートがひび割れたときに発光して、損傷を知らせる

#### 「キグルミ点検者」

・市民へのイメージアップを目的に行う

プラスチックリサイクル会社ブリテックと  
廃品・廃液回収アイザックの2社を見学！



富山市エコタウン交流推進センターでプラスチックゴミの回収とリサイクル事業推進の経過と問題点の講話



### 竹井トピックゼミ

平成25年12月6日 竹井トピックゼミが  
エコタウン交流センターを見学に行きました。

#### < 参加した学生の感想 >

- ・富山県にリサイクル施設があることを知り、見学できたため、プロセスのイメージができました。
- ・すべて機械的に処理されていないことが分かりました。コストダウンのため改善できる点に興味がありました。
- ・機械やプラスチックの奥深い点や処理プロセスをもっと調査したいと思いました。

## 2013年度 地域協働成果発表会

### ●発表会プログラム

1. 開会
2. COC推進本部長あいさつ 代理 松本副本部長
3. 発表・質疑応答
  - 竹井 トピックゼミ 「廃棄物のリサイクルの課題と対策」
  - 伊藤(始) トピックゼミ 「富山市における橋梁の老朽化維持管理に関する課題把握」
  - 松本(公) トピックゼミ 「プラネタリウム工作教室の実施」
  - 奥田 トピックゼミ 「新幹線開業後の富山の観光」
  - 中村(清) トピックゼミ 「新幹線開業に伴う新高岡交通体系における提言」
  - 唐山 トピックゼミ 「射水市活性化案」
  - 岩本 専門ゼミ 「南砺市の協働のまちづくりを推進する取り組みについて」
4. 全体質疑応答
5. 講評 奥田COC推進副本部長
6. 閉会



1月24日、「COCトピックゼミ」専門ゼミ地域協働成果発表会が開かれ、学生が地域の課題を発表し、解決策などを提言しました。発表学生は10月からトピックゼミや専門ゼミで、地域関係者との対話を通じた授業に取り組んできました。発表学生も含め、発表会に参加した学生は約100名、その他地域関係者も参加しました。発表では、観光客誘致のためのSNSの活用、橋梁の老朽化維持管理では「着ぐるみ点検者」による市民のイメージアップといったユニークな提案が出ました。参加した地域関係者の方々からも質問が挙がり、大変活気のある場となりました。今年度の授業は2月で終わるが、今後も学生には是非継続的に今回取り組んだテーマに係わっていただきたいと思います。

●**今回の地域協働科目の受講及び発表会を通して、自分なりに成長したなど感じる点は？**

自分の思っていることを伝える力がついたと思います。発表の前に先生にみてもらったのは一度だけでしたが、何をいいかを考えながら発表の練習をしていました。

●**地域協働科目を受講して感じた座学とは異なるメリットは何ですか？**

正に百聞は一見にしかずで、実際に見て分かったり、見て教えられたりして気づくことが大きかったです。教養ゼミで富山駅構内を見学した際は、お土産が少ないという課題に気づくことができました。今回の発表である富山の食材を活かした「新幹線開業後の富山の観光」に繋がりました。

●**他のゼミの発表でもおもしろいと感じた発表は？**

三年生の岩本ゼミです。会場の人々と対話しているような発表で、スラスラと言っていたのがすごいなと思いました。今後、プレゼンの方法をお手本にしていきたいです。

●**発表をする時、工夫していた点は？**

発表の際は自分の父を参考にしました。父は見知らぬ人とも雑談をするのが上手で、そんな父を尊敬しています。プレゼンではそんな父を参考に、人に語りかけるようなところがけていました。実際、プレゼンの原稿は考えず、何を言いたいのか思い出しながら発表しました。

1月24日、「COCトピックゼミ」専門ゼミ地域協働成果発表会が開かれ、学生が地域の課題を発表し、解決策などを提言しました。

発表学生は10月からトピックゼミや専門ゼミで、地域関係者との対話を通じた授業に取り組んできました。発表学生も含め、発表会に参加した学生は約100名、その他地域関係者も参加しました。

発表では、観光客誘致のためのSNSの活用、橋梁の老朽化維持管理では「着ぐるみ点検者」による市民のイメージアップといったユニークな提案が出ました。

参加した地域関係者の方々からも質問が挙がり、大変活気のある場となりました。

今年度の授業は2月で終わるが、今後も学生には是非継続的に今回取り組んだテーマに係わっていただきたいと思います。

学生インタビュー

地域協働成果発表会での発表を終えた  
知能デザイン学科2年生  
河村知侑さん